

岐阜高専「海外インターンシップ・短期留学壮行会」を開催

岐阜高専は、世界で活躍できる技術者を育成するため、海外の大学等との交流協定の締結を進め、学生が海外で学び・国際経験を積める環境の整備に力を入れている。本年度は、JASSO（独立行政法人日本学生支援機構）の双方向短期研修・研究型プログラムの支援を受けて、海外大学の学生 25 名を受け入れるとともに、本校学生を海外大学等に派遣している。

今年度は専攻科 1 年生 14 名の海外インターンシップへの派遣、および本科生 9 名の海外短期留学を決定し、7 月 10 日（月）、当該学生を対象に壮行会を行った。派遣留学先及び人数は、英国ダーラム・TYK Ltd.2 名、バンドン工科大学 3 名、マレーシア工科大学 3 名、米国アイオワ大学 2 名、ドイツ・ハノーバー大学 2 名、ウズベキスタン・トリノ工科大学タシケント校 2 名、ニュージーランド・オタゴポリテクニク 5 名、北アイルランド・SERC 2 名、中国・鍋屋バイテック 2 名であり、専攻科生の海外インターンシップについては 3 週間、先方の大学教員の研究室等に配属され研究指導を受ける。参加学生は、世界の現状を知るとともに、英語によるプレゼンテーション能力・コミュニケーション能力を磨くことになる。

壮行会は、伊藤義人校長、清水晃・廣瀬康之国際交流副室長らの出席の下に行われ、学生は激励の言葉に決意を新たにした。



学生との記念撮影（伊藤校長（前列中央）、清水・廣瀬国際交流副室長（前列左右端）ほか）